

令和 4 年度 介護認定調査員現任研修

(八王子市福祉部介護保険課)

オンライン研修

【第 1 部】

氏名

問題1 特記事項

特記事項を記載する際に、次の選択肢の中で最も適している考えは次のうちどれですか。

- 1 基本調査項目の定義に該当しなくても、行われている介護の手間について、記載する
- 2 基本調査項目の定義にうまく当てはまらないことは、できるだけ記載しない
- 3 基本調査項目の選択の際に、迷ったことは記載しない

問題2 能力

実際に試行した状況と、介護者から聞き取りした状況が異なる場合の選択肢の選択方法について、正しいものはどれですか。

- 1 常に、実際に行った結果で選択する
- 2 常に、聞き取りした状況で選択する
- 3 常に、より頻回に見られる状況に基づき選択する

問題3 有無（BPSD 関連）

BPSD 関連項目の基本調査では、概ねどの程度の期間の状況を調査対象としますか。

- 1 調査日より概ね1週間
- 2 調査日より概ね2週間
- 3 調査日より概ね1か月

問題4 1-1 麻痺の有無

右下肢が欠損して確認動作が行えない場合、基本調査ではどれを選択しますか。

- 1 「右下肢」を選択
- 2 「右下肢」「その他」を選択する
- 3 「その他」を選択する

問題5 2-3 嚥下

「見守り等」の選択基準として、正しいものはどれですか。

- 1 実際に見守りが行われていることを必須とする
- 2 いつも「声かけ」をおこなっているので「見守り等」を選択した
- 3 「できる」、「できない」いずれにも含まれないと考えられたので「見守り等」を選択した

問題6 3-2 毎日の日課を理解

「毎日の日課の理解」とは、() について理解する能力を評価する項目である。

- 1 毎日の日課の厳密な時間
- 2 起床、就寝、食事等のおおまかな内容
- 3 曜日ごとのスケジュール

問題7 2-5 排尿

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

おむつを使用しており、自分で準備から後始末まで行っている。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

- 1 介助されていない
- 2 見守り等
- 3 全介助

問題8 2-6 排便

次のうち、排便の介助として評価されるものはどれですか。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

- 1 トイレまでの移動の介助
- 2 ポータブルトイレの後始末の介助
- 3 失禁した場合の衣服の行為の介助

問題9 5-6 簡単な調理

次のうち「簡単な調理」に含むものはどれですか。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

- 1 お茶、コーヒーの準備
- 2 弁当、総菜、レトルト食品、冷凍食品の加熱
- 3 配下膳、後片付け

問題10 4-1 2 ひどい物忘れ

「ひどい物忘れ」の基本調査の選択基準について、誤っているものはどれですか。

- 1 電話の伝言をし忘れるといったような、単なる物忘れも含まれる
- 2 「ひどい物忘れ」によって周囲の者が何らかの対応をとらなければならない状況(火の不始末)が含まれる
- 3 寝たきりで、認知症もあるが、意思疎通もできないので、「ない」を選択した

問題 11 過去 14 日間にうけた特別な医療（透析）

正しければ○、誤っていれば×を選択してください。

「血液透析」ではなく、「腹膜透析」を受けているため、「透析」には該当しない。

- 1 ○
- 2 ×

問題 12 有無（BPSD 関連）

正しければ○、誤っていれば×を選択してください。

BPSD 関連の基本調査項目の選択肢の選択では、行動が発生しているかで選択し、介護の手間が発生しているかでは選択しない

- 1 ○
- 2 ×

問題 13 介助の方法

基本調査項目のうち「洗髪」「洗顔」「爪切り」について、生活習慣や寝たきり等によって介助の機会がない場合、どのように選択しますか。

- 1 「介助されていない」を選択する
- 2 「一部介助」を選択する
- 3 類似行為で評価する

問題 14 3-7 場所の理解

基本調査でどの選択肢を選択すればよいですか。

施設に入所していることは理解しているが、施設の所在地や施設名について答えることができなかった。

- 1 できる
- 2 できない

問題 15 1-9 片足での立位

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

自分の手で支えるのではなく、介護者によって支えられた状態でなければ片足を上げられない。

- 1 支えないでできる
- 2 何か支えがあればできる
- 3 できない

問題 16 5-5 買い物

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

近くのスーパーへ一人で買い物へ行くが、 unnecessary 商品も買ってきてしまうため、家族が週 1 回返品に行く。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

- 1 介助されていない
- 2 見守り等
- 3 一部介助

問題 17 2-10 上衣の着脱

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

衣服が手渡されれば、自力で着ることができる。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

- 1 介助されていない
- 2 見守り等
- 3 一部介助

問題 18 2-1 移乗

次のうち移乗に含まれないものはどれですか。(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

- 1 体位交換の際に臀部を動かす行為
- 2 車いすからいすへ、でん部を動かす行為
- 3 畳中心の生活で、いすの使用がない場合で、両手をついて腰を浮かせる行為

問題 19 5-1 薬の内服

薬の内服がない(処方されていない)場合について、正しいものはどれですか。
(ただし、不適切な状況にはないものとします。)

- 1 薬剤が処方された場合を想定して、本人の能力で選択する
- 2 薬剤が処方された場合を想定して、適切な介助の方法を選択する
- 3 介助が発生しないので、「介助されていない」を選択する

問題 20 1-10 洗身

洗髪や入浴は、「洗身」に含まれますか。

- 1 洗髪も入浴も含まれる
- 2 入浴のみ含まれる
- 3 洗髪も入浴も含まれない

問題 21 3-8 徘徊

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

毎日、ベッド上を這い回っているが、ベッドから下に降りて、部屋を這って動き回ること
はない。

- 1 ある
- 2 ときどき
- 3 ない

問題 22 4-3 感情が不安定

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

家族の話では、昔から涙もろく、テレビドラマ等見ていると直ぐに泣いてしまうことが、
1 か月で1， 2 回ある

- 1 ある
- 2 ときどき
- 3 ない

お疲れ様でした。

令和 4 年度 介護認定調査員現任研修【第 2 部】

【はじめに】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和 4 年度の現任研修につきましてもオンライン研修での開催となります。オンライン研修での開催は今回で 3 回目となります。

令和 4 年度の現任研修では、「認定調査における整合性とは？対象者本人の状態像をより適切に把握するために」というテーマについて、皆さまと一緒に理解を深めていきたいと思います。

【整合性の理解】

はじめに、皆さまは認定調査における「整合性」と聞かれて思い浮かべたり、思い当たるような事がありますか？実際にどのような事を指しているのか直ぐには見当がつかない方もいるのではないのでしょうか？

ここで「整合性」について考える前に、基本に立ち返りこの言葉のもつ意味を理解したいと思います。

「整合性」と調べると・・・

物事や言動に矛盾がなく、整っていることを意味する言葉。

つじつまが合っていること。

その他、大切な場面で登場する言葉であったり、ビジネスシーンにおいては、資料・議論・数値・戦略など、複数の事項の間にある矛盾を指摘するとあります。

我々認定調査員においての「整合性」とは何かと問われた場合、当然のことながら日々取り扱っている認定調査票・特記事項となる訳ですが、その何に対して整合性を問われるのでしょうか？

もとの言葉の意味を認定調査ふうに言い換えるとするならば、「基本調査項目や特記事項の内容に矛盾がなく、整っていること」と言い換えられるのではないのでしょうか。

このように考えるだけでも、当然の事ではありますが、我々認定調査員が日々取り扱っている認定調査票・特記事項が如何に重要なものなのかという事を改めて理解できるのではないかと思います。

「整合性」という言葉のもつ重要性を理解できた段階で、認定調査の場面において、なぜそれほどまでに整合性というものが重要視されるのでしょうか？

それは「整合性」⇒「調査対象者本人の状態像を現す」からだと言えるのではないのでしょうか。

整合性がとれている調査内容であれば、それは

「正確な調査対象者の現状および状態像を現している」＝「正確な資料として認定区分に反映される」と言えると思います。

仮に整合性が欠けていた場合はどうでしょうか？

「整合性に欠ける」⇒「調査対象者本人の状態像が見えてこない」⇒「資料としては情報が不足」という事が言えると思います。

だからこそ、認定調査における「整合性」という意味は非常に重要であり、より正確な調査が求められるのです。

では、実際に認定調査の中で、具体的にどのような点をポイントに抑えておけば良いのでしょうか？
皆さまは認定調査を開始する際、調査対象者の本人を前にして、どのような事を思い浮かべて調査をしていますか？もしくはごく自然と何か頭の中で思ったり考えたりする事はありませんか？

特に日々ケアマネジャーのお仕事に従事している方や長年にわたり認定調査員として従事している方の場合、調査対象者本人を前にして、ある程度の状態像を把握・確認できる方がいるかもしれませんが、そのような場合の傾向として全部とは言いきりませんが、認定調査員またはケアマネジャーの経験則に基づく「想像」「推測」「予測」等が瞬時に頭の中で働いた上での状態像に留まってないのでしょうか？

全てを否定するものではありませんが、仮にそのような場合、経験則に基づく状態像のままで調査が終了してしまったとすると、前述した「整合性に欠ける」状態の一因に、更に言えば、本来の調査の聞き取りが成されてない事になります。

ここで要介護認定の基本設計を復習しておきましょう。皆さまは3つの大切な評価軸を覚えていますか？

「能力」「介助の方法」「有無」

この基本設計からなる評価軸をもとにした認定調査項目により「状態像」を把握するとテキストでも述べられています。

「正確な調査対象者本人の現状および状態像を把握する」という点において述べるのであれば、

- ・実際に調査で聞き取った状態
- ・動作確認した状態
- ・日頃の状態
- ・より多い頻度
- ・その他状態像に結びつく重要な情報

実際の調査に基づく「現状」「実態」「表現」等をより詳細に正確に聞き取る事がいうまでもなく重要となる訳です。

基本設計に従い正確に認定調査を進める事により、実は無理に整合性を意識せずとも、自然に整合性がとれた認定調査資料となり、最終的にその調査対象者本人の正確な状態像の把握につながるのだと思います。

整合性がとれた認定調査資料は、対象者本人の状態像も正確であるため、おそらくですが審査会の先生方に対しても非常に伝わりやすく、調査対象者がどのような状況かイメージし易いものになると考えら

れます。

「要介護認定の基本設計に従い認定調査を進めれば、予め整合性を意識せずとも自然に整合性がとれた認定調査資料になる」と述べたばかりですが、 そのようにいっても人がそれぞれ異なるように生活スタイルや特徴も千差万別です。

1人1人大きく状況は異なりますので、認定調査項目の選択や判断に迷われたり、特記事項の記載内容に悩む場合もあると思います。基本設計に従っただけでは整合性はとれないと考える方もいらっしゃるかもしれません。

そこで認定調査員として必要なスキルとなってくるものが、実際の認定調査の場面で認定調査項目を聞き取る時の質問の仕方や確認方法にあります。

認定調査項目の選択や判断に迷われた場合、調査員は疑問をもちあらゆる生活場面を想定しながら質問の内容や聞き方を変えて確認していく必要があります。

認定調査項目はそれぞれの内容の一つ一つだけを見るとつながりがなくバラバラのように見えますが、実際はそのような事はなく、一つ一つの項目に対して何かしら他の項目との関連性が見られるという特徴があります。

認定調査の際は、調査対象者本人の生活を要介護認定の基本設計にならい、項目ごとにばらして聞き取りますが、実際は1人の方の生活ですからバラバラでつながりがないという事は決してありません。

項目ごと聞かれている内容は異なりますが、それらは全て1人の方の生活に関連付いている、つながっているという事になりますので、結果これがその方の「状態像」となる訳です。更に言えば、関連性がありつながっている為、整合性がとれている事が絶対条件とも言えると思います。

以上のことをご理解いただき、次ページからの課題に取り組んでください。

令和 4 年度 認定調査員現任研修事前課題シート

令和 4 年度認定調査員現任研修資料にある【整合性の理解】を一読後、下記事例についての問い①～④にお答えください。

- 問① 事例で選択されている回答や判断は適切か。(どちらかを○で囲む)
 問② 問①で適切ではないと判断した場合、事例のどの部分に整合性が欠けていると感じたか。
 問③ 正しい選択・回答を行う為の判断材料として、更に聞き取る必要がある情報は何か。
 問④ 問①～③を考えた上で、あなたが選択した各事例の回答。(一つを○で囲む)

【事例 1】

(1-10) 洗身

家族・ケアマネジャーへの聞き取りで「デイサービスで週 1 回入浴しており全介助」と言われた為「全介助」を選択した。※ただし、(1-1) 麻痺・(1-2) 拘縮はチェック無。3 群は全て問題なしとする。

《解答欄》

問①	事例で選択した回答は a 適切である ・ b 適切ではない
問②	あなたが思う整合性が欠けている点は
問③	あなたが事例の調査員だったら、他にどのような情報を確認しますか？
問④	最終的にあなたが判断し選択した回答は a 介助されていない b 一部介助 c 全介助 d 行っていない

【事例 2】

(2-11) ズボンの着脱

平日はデイサービス利用。デイサービスの出発準備で、朝の就労前に家族が全て着替えさせていると聞き取った為、「全介助」を選択した。

※ただし、(2-5) 排尿・(2-6) 排便共にズボンの上げ下げは自分で行っている。

《解答欄》

問①	事例で選択した回答は a 適切である ・ b 適切ではない
問②	あなたが思う整合性が欠けている点は
問③	あなたが事例の調査員だったら、他にどのような情報を確認しますか？
問④	最終的にあなたが判断し選択した回答は a 介助されていない b 見守り等 c 一部介助 d 全介助

【事例 3】

(2-9) 整髪

頭髪がない、または短髪で日頃から行う習慣や必要がないと言われた為、「介助されていない」を選択した。 ※ただし週2回の入浴で洗髪は家族が行っている。タオルを渡せば自分で頭は拭ける。

《解答欄》

問①	事例で選択した回答は a 適切である ・ b 適切ではない
問②	あなたが思う整合性が欠けている点は
問③	あなたが事例の調査員だったら、他にどのような情報を確認しますか？
問④	最終的にあなたが判断し選択した回答は a 介助されていない b 一部介助 c 全介助

【事例 4】

(5-2) 金銭の管理

家族よりお金の管理は全て家族でやってますと言われた為「全介助」を選択した。

※ただし3群は問題なし、(5-1) 薬の内服は「介助されていない」を選択、7群日常生活自立度「J2」。

《解答欄》

問①	事例で選択した回答は a 適切である ・ b 適切ではない
問②	あなたが思う整合性が欠けている点は
問③	あなたが事例の調査員だったら、他にどのような情報を確認しますか？
問④	最終的にあなたが判断し選択した回答は a 介助されていない b 一部介助 c 全介助

【事例 5】

(5-5) 買い物

自分から頼む事もなく買い物は全て家族が行っていると言われた為「全介助」を選択した。

※ただし、(5-2) 金銭管理は「介助されていない」を選択。

《解答欄》

問①	事例で選択した回答は a 適切である ・ b 適切ではない
問②	あなたが思う整合性が欠けている点は
問③	あなたが事例の調査員だったら、他にどのような情報を確認しますか？
問④	最終的にあなたが判断し選択した回答は a 介助されていない b 見守り等 c 一部介助 d 全介助

事前課題の解答・解説は、このあと視聴いただくオンライン研修内で行います。

お疲れ様でした。

八王子介護支援専門員連絡協議会
認定調査担当理事 金沢 石坂